

令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

山形県

（地域における現状・課題）

休日の部活動を地域へ移行するにあたり、受け皿となる運営団体とその指導者の確保が大きな課題である。1つの総合型クラブだけで全て担うには難しく、学校・地域・行政が連携を図りながら、地域に根差した持続可能な地域スポーツ活動の在り方を検討していく必要がある。

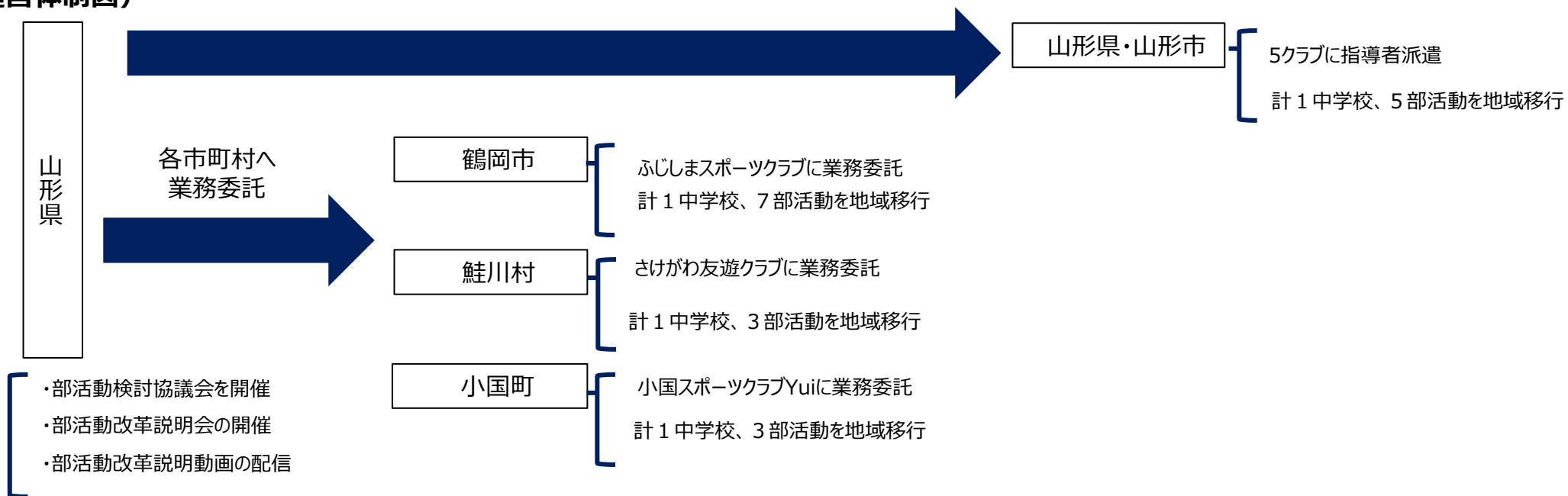
（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

- ・運動部活動と地域等の連携の在り方に関する検討委員会（R2設置・年2回開催）
- ・各関係団体へ部活動改革について説明
- ・部活動改革説明動画の配信（部活動改革の周知）
- ・人材バンク登録者数増に向けた取組み（競技団体・大学・専門学校等への協力依頼）

（実践研究の成果）

- ・R4部活動改革に関する検討委員会の設置 35市町村中 19市町村（R4年度中設置予定 6市町村・R5設置予定 10市町村） R4.12現在
- ・地域スポーツ活動に対する生徒の満足度 86.7%

（運営体制図）



令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

山形県（山形市）

（地域における現状・課題）

山形市には15校の中学校が設置されているが、生徒数の減少による部員数の減少、顧問教諭の負担、専門的な指導ができる顧問の不足などが主である。今後、休日の部活動を地域へ移行していくためには、生徒・保護者・学校・顧問・地域等の理解を得ながら、検討を進めていかなければならない。他市町村に比べ部活動数が多いことから、市教育委員会及び総合型クラブ等関係団体と連携を図りながら、生徒や学校部活動の実態把握、受け皿となる団体の確保、クラブの財源の確保等について研究を進めていく必要がある。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：男女南原ジュニアバレーボールクラブ・ジュニアバドミントンクラブ
RUNバドクラブ・エイトクラブ

活動場所：山形六中体育館、市内体育施設他

指導者：各クラブ指導

移動手段：徒歩、自転車、保護者の送迎

責任主体：各クラブ

活動種目：バレーボール・バドミントン・ソフトテニス

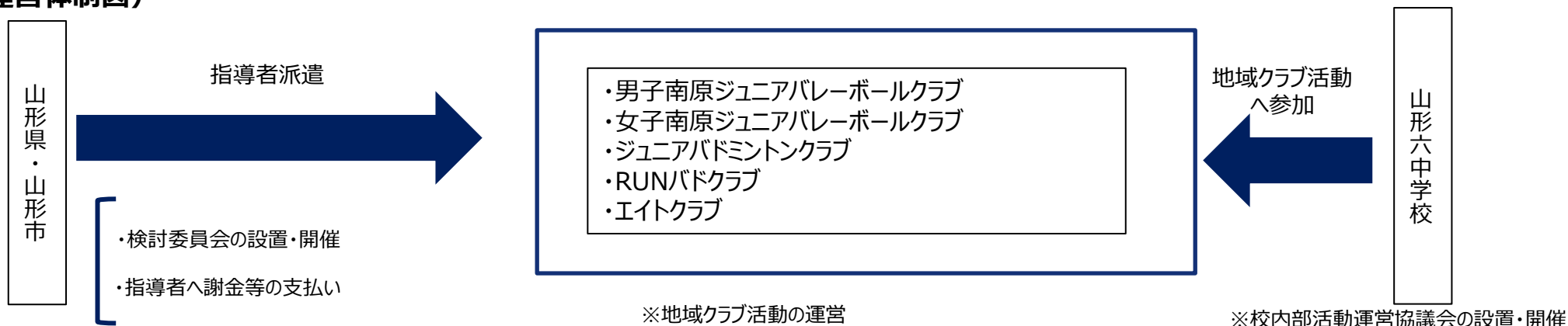
会費等：2,000円/年

保険：800円（スポーツ安全保険）

（実践研究の成果）

- ・地域スポーツ活動における生徒の満足度 75%
- ・休日の部活動の地域移行について（教職員） 賛成 78%
- ・学校運営協議会の開催（部活動改革に対する意識改革）

（運営体制図）



令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

小国町

（地域における現状・課題）

小規模校であるため、教員の定数も限られており、運動部顧問が専門的な指導をできる状況はほとんどない。外部指導者の活用や部活動再編等、校内でも検討を進めてきたが、学校内だけの解決が難しくなっている。学校・顧問・地域の理解を得ながら、教育委員会及びさけがわ友遊クラブ（総合型クラブ）と連携を図りながら、地域に根差した持続可能な地域スポーツ活動の在り方を検討していく必要がある。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：おぐにスポーツクラブYui / 小国町教育委員会

活動場所：小国中学校他

指導者：おぐにスポーツクラブYui指導者

移動手段：徒歩、自転車、スクールバス、保護者の送迎

責任主体：おぐにスポーツクラブYui

活動種目：野球・バドミントン・バレーボール

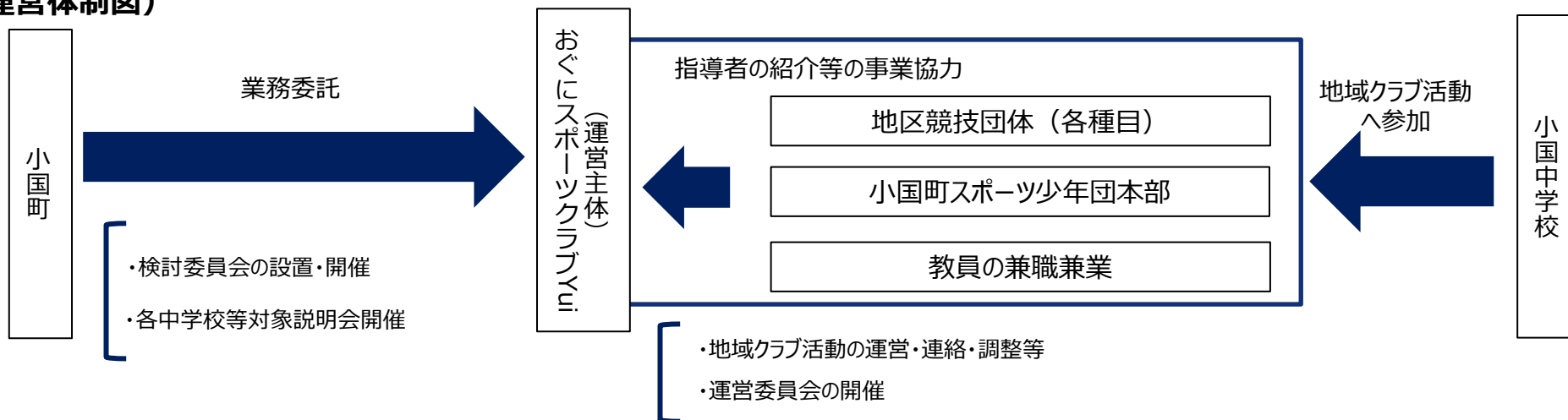
会費等：4,000円/年

保険：800円（スポーツ安全保険）

（実践研究の成果）

- ・当該顧問の時間外勤務における部活動指導時間 7割以上削減
- ・地域スポーツ活動における生徒の満足度 81%
- ・運動部活動に対する意識改革（生徒・保護者・学校・地域）

（運営体制図）



令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

鮭川村

（地域における現状・課題）

小規模校であるため、教員の定数も限られており、運動部顧問が専門的な指導をできる状況はほとんどない。外部指導者の活用や部活動再編等、校内でも検討を進めてきたが、学校内だけの解決が難しくなっている。学校・顧問・地域の理解を得ながら、教育委員会及びさけがわ友遊クラブ（総合型クラブ）と連携を図りながら、地域に根差した持続可能な地域スポーツ活動の在り方を検討していく必要がある。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：さけがわ友遊クラブ / 鮭川村教育委員会

活動場所：鮭川中学校他

指導者：さけがわ友遊クラブ指導者

移動手段：徒歩、自転車、スクールバス、保護者の送迎

責任主体：さけがわ友遊クラブ

活動種目：野球・バドミントン・バレーボール

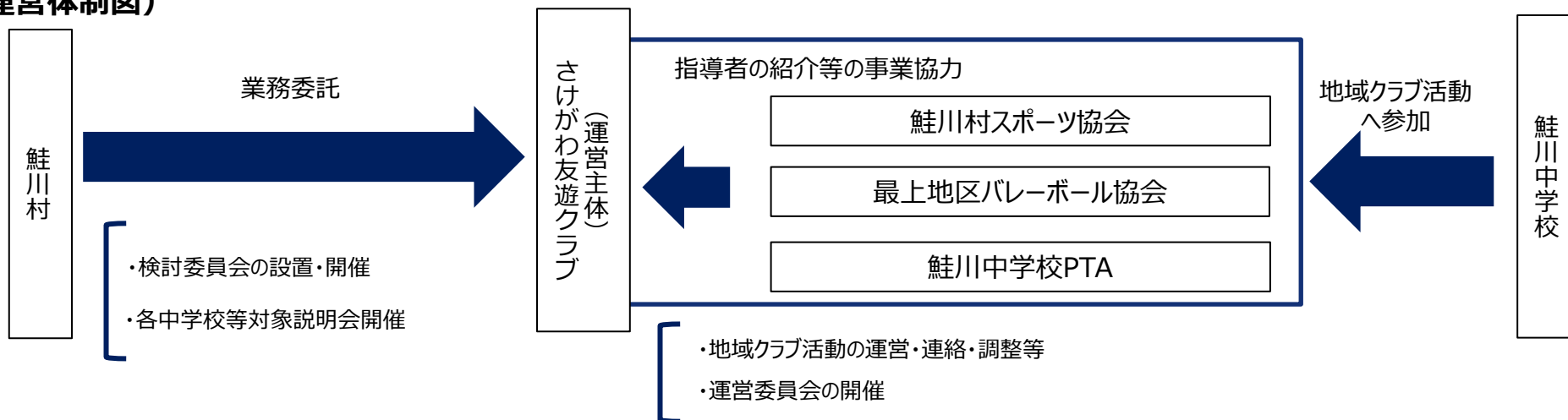
会費等：4,000円/年

保険：800円（スポーツ安全保険）

（実践研究の成果）

- ・当該顧問の時間外勤務における部活動指導時間 3割削減
- ・地域スポーツ活動における生徒の満足度 94% 保護者の満足度 78%
- ・地域移行に賛成（教職員） 100%

（運営体制図）



令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

鶴岡市

（地域における現状・課題）

鶴岡市には、11校の中学校が設置されており、大規模校、小規模校に関わらず、部活動に係る課題は、生徒数の減少や顧問教諭の負担、専門的な指導ができる顧問の不足などが主である。外部指導者の活用や部活動再編等、鶴岡市において検討委員会を設置し、部活動改革を進めてきたが、今後、鶴岡市の全中学校が、休日の部活動は地域スポーツ活動へ移行できるようにするために、学校・顧問・地域の理解を得ながら、市教育委員会及び当該総合型クラブと連携を図りながら、地域に根差した持続可能な地域スポーツ活動の在り方を研究していかなければならない。また、同時に、クラブの新規立ち上げについても研究を進めていく必要がある。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：ふじしまスポーツクラブ / 鶴岡市教育委員会

活動場所：ふじしま中学校、藤島活動センター武道館他

指導者：ふじしまスポーツクラブ指導者

移動手段：徒歩、自転車、スクールバス、保護者の送迎

責任主体：ふじしまスポーツクラブ

活動種目：剣道・ソフトテニス・バスケットボール・サッカー・卓球・バレーボール
野球

会費等：5,000円/年

保険：800円（スポーツ安全保険）

（実践研究の成果）

- ・当該顧問の時間外勤務における部活動指導時間 3割削減
- ・地域スポーツ活動における生徒の満足度 95% 保護者の満足度 87%
- ・令和5年度から鶴岡市内全中学校の休日の部活動を地域移行

（運営体制図）

